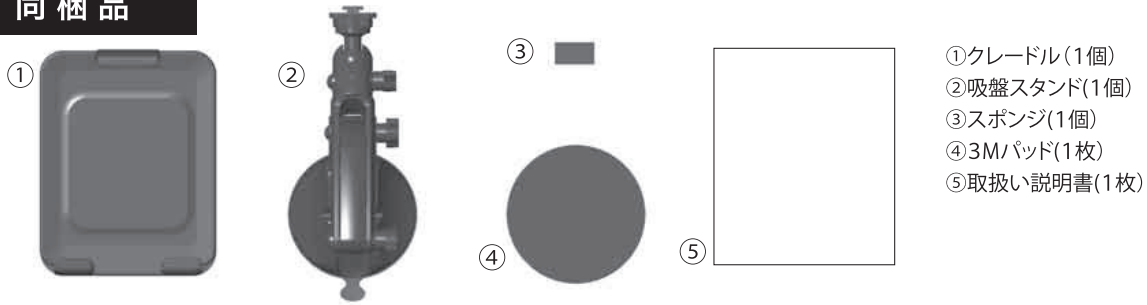


# 取扱説明書

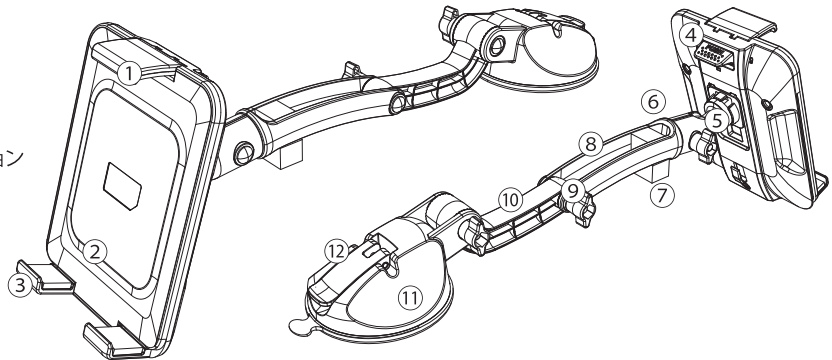
このたびは、弊社製品をお買い上げ頂きまことに有難うございます。  
ご使用前には、必ずこの説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。  
なお、お読みになったあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

## 同梱品



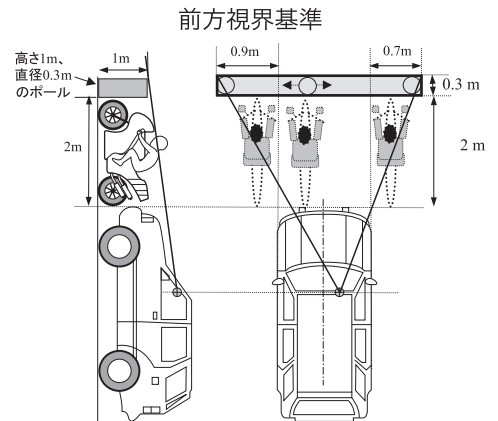
## 各部の名称

- |              |              |
|--------------|--------------|
| ①クレードルホルダー   | ⑦スポンジ        |
| ②クレードル本体     | ⑧アームエクステンション |
| ③クレードルガイド    | ⑨ハンドスクリュー    |
| ④クレードルレバー    | ⑩アーム         |
| ⑤フック         | ⑪吸盤本体        |
| ⑥ローテーションシャフト | ⑫吸盤レバー       |



## 注意

- 「道路運送車両の保安基準」の改正に伴い、前方視界基準を確保することが義務づけられました。前方視界基準を確保して取り付けを行ってください
- 最適な性能でお使いいただくために、付属の3M Padのご使用を推奨します。  
パッドを使用せずにダッシュボードに直接吸盤を取り付けた場合、ダッシュボードの材質によっては、空気が漏れて吸着しなかったり、変形したり跡が残る場合があります。予めご了承ください。
- ※取り付ける場所の材質によって、跡が残ったり、ゲル素材が移る、又は取り付け面の素材がゲルに転写して、色落ちする場合があります。目立たない場所で、事前にこれらの状態を確認してからご使用ください。
- ※皮製品や柔らかい面、変形しやすい面には、本製品は使用しないでください。吸着力が強いため、吸着面が変形して跡が残る場合があります。
- ※特殊塗装面など色落ちしやすい面には使用しないでください。表面素材がゲルに転写して取り付け面が色落ちしたり、跡が残る場合があります。
- ※使用の際は、粘着ゲルに汚れがないことを確認してください。粘着ゲルに汚れやホコリが付着すると本来の性能が発揮されず、落下等により搭載機器の破損や、周辺機器を傷つけるおそれがあります。



- ・仕様及び外観は、予告なく変更される場合があります。
- ・本製品の使用、その他特別な事情から生じたいかなる損害および、第三者からお客さまに対してなされた損害賠償請求に基づきいかなる損害に対しても、弊社は一切責任を負いません。

# 取り付け方

取扱説明動画  
動画でもご覧  
いただけます。



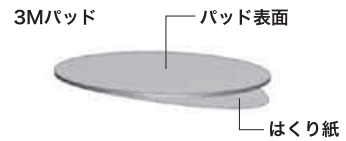
## 1 取り付ける位置を決める。

ハンドスクリューを緩め、アームの形状を調整しながら吸盤本体の取り付け位置を決めてください。  
※出来るだけ水平で平らな場所を選んでください。  
不安定な面や継ぎ目のあるところは避けてください。



## 2 3Mパッドのはくり紙をはがして、吸盤を取り付ける位置にパッドを取り付ける。

- 吸盤本体を取り付ける位置にパッドを貼り付けます。
- 貼る場所の汚れ、脂分を完全に除去してください。
- はくり紙をはがし、慎重にパッドを貼り付けてください。  
(貼り直しは、接着力を弱めるので注意してください。)
- 接着力を強くするために、24時間以上は、吸盤を取り付けず放置してください。



本体を押さえながらレバーを下ろす。

## 3 吸盤本体を取り付ける。

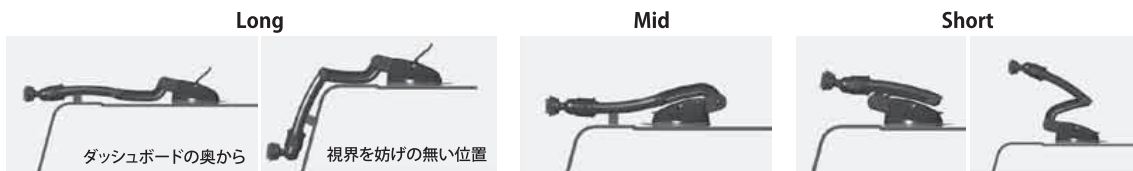
- 吸盤の保護紙を取り、パッドからはみ出さないように吸盤本体を置きます。
- 本体を上からしっかり押さえながらレバーを下げて吸着させます。

**注意** 吸盤が確実に吸着しているか確認してからお使いください。

- 警告** 運転の際に、視界の妨げや運転操作の支障となる場所、エアバック付近には取り付けしないでください。
- 吸盤の性質上、長期間使用すると吸着力の低下で落下することがあります。定期的に取り外して吸着力を確認してお使いください。
- 万が一落下しても、運転に支障のない位置でお使いください。

## 4 アームを調整する。

- ハンドスクリューを緩めた状態で、アームの角度を決めます。
- エクステンションアームを伸ばしてお使いになる場合は、出来るだけ、ダッシュボードの形状に沿うように調整してください。
- アームが長い状態は、振動でタブレットが揺れやすくなります。安定した状態でお使いいただくために、付属のスポンジを使って、直接アームがダッシュボードに触れない位置に調整してください。
- 位置が決まったら、ハンドスクリューを締め固定します。



## 5 クレードルをアームに取り付ける。

- アーム先端のフックにクレードル裏側を差し込みます。
- クレードルを下にスライドさせてフックを確実に固定します。



## 6 クレードルの角度調整

- ローテーションシャフトのハンドスクリューを緩め、クレードルの角度を調整します。
- ローテーションシャフトを回転させることで、広い角度で調整が可能です。
- 角度が決まったら、ハンドスクリューを締め固定します。

## 7 タブレットの固定

- クレードルレバーを押して、クレードルホルダーを上げた状態にします。
- クレードルガイドにタブレットを載せます。
- クレードルホルダーを上から押さえ、タブレットを固定します。確実に固定されるよう、しっかり押さえてください。

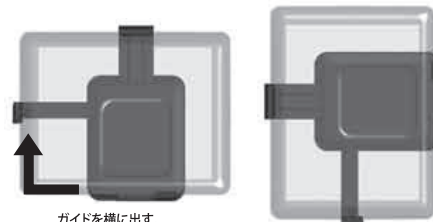
- 注意** クレードルホルダーは、スプリングの反動で勢いよく上がります。ホルダー上部に注意してレバーを押してください。
- 確実に固定されているか、確認してからお使いください。



ホルダーを押さえつけて固定する

## タブレットを縦にお使いの場合

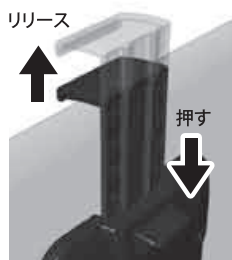
- 左側のクレードルガイドを横にカチッと音がするまで出します。
- ローテーションシャフトのハンドスクリューを緩めて、ガイドが下に向くようにホルダーを回転させて使用します。



ガイドを横に出す。

- 警告** 本製品は、タブレット用スタンドです。他の目的でのご使用はやめてください。
- 本製品の耐荷重は、850gです。耐荷重を超える機器にはご使用にならないでください。

# 取り外し方



レバーを押してリリース。

## ① タブレットの取り外し

・クレードルレバーを押すと、自動的にクレードルホルダーが上がります。

**⚠ 注意** クレードルホルダーは、スプリングの反動で勢いよく上がります。指などが当たらないように注意してレバーを押してください。



## ② 吸盤本体の取り外し

・吸盤レバーを上げ、吸着を解除します。  
・吸盤のタブを持ってゆっくり剥がしてください。

**⚠ 注意** 必ずタブの部分を持って吸盤を剥がしてください。無理に剥がすと、本体を破損したりゲルを傷つける恐れがあります。粘着ゲルが傷つくと、吸盤本来の性能が発揮できなくなります。

# 保管とメンテナンス

## 保管

ご使用にならないときは、粘着ゲルにホコリや汚れが付かないように、保護紙やラップなどを付け吸盤レバーは、必ず上げた状態で直射日光を避けた場所に保管してください。

・再度ご使用の際は、粘着ゲルに汚れが無いことを確認してからお使いください。

メンテナンス動画



動画でもご覧いただけます。

## ゲルの洗浄

・汚れて性能が落ちた場合は、水洗い又はウエットティッシュで汚れを落とし、完全に乾燥させることで性能を簡単に復活させることができます。

**⚠ 注意** 粘着ゲルの洗浄は、ゲルを傷つけないよう指などで優しく擦るようにしてください。ブラシなど固いもので擦るとゲルを傷つけ、本来の性能が発揮できなくなります。



## ⚠ 注意

●本製品は、本体の固定に粘着ゲル吸盤を使用しています。

※吸着面の形状が湾曲している場合など、吸盤が表面に完全に接触しない場所では真空状態を維持できず吸着しません。

※通気性のある場所には、粘着ゲル吸盤は吸着しません。ダッシュボードの材質によっては、真空状態が維持できず吸着しなかったり、長時間真空状態を維持できない物があります。(真空を維持できない材質、湾曲の大きな面のダッシュボードや目に見えない穴があいたダッシュボードなどは、吸着を長時間維持できない場合があります。)

株式会社 スペックス [www.spex-q.jp](http://www.spex-q.jp)

462-0063 名古屋市北区丸新町41番地 お問い合わせ ☎052-982-9907 e-mail: [mobile-fit@specs911.com](mailto:mobile-fit@specs911.com)